

会 議 録

行 田 市 教 育 委 員 会

平成 29 年度 第 18 採択地区教科用図書採択に係る臨時教育委員会

招集年月日	平成 29 年 7 月 26 日 (水)	開会場所	行田市教育委員会 第 2 会議室	
開閉の時刻 及び宣言者	開会 7 月 26 日 (水) 午後 1 時 30 分 閉会 7 月 26 日 (水) 午後 2 時 30 分	教育長	森 郁子	
教育長	森 郁子	教育長職務代理者	岸 田 昌 久	仮議長
席次番号	出席の教育長 及び委員氏名	摘 要		
1	森 郁子			
2	岸 田 昌 久			
3	鹿 山 高 彦			
4	増 田 雅 久			
5	大久保 英子			
議 事 参 与 者			書 記	
学校教育部次長兼学校教育課長 佐藤 明彦 第 18 採択地区教科用図書選定 石川 徳男 委員会長 (行田市立南小学校長)			書記 金野 泰久	

会議事件名		顛	末
会 議 の 進 行 状 況	採択協議 (1) 協議	教育長 行田市教育委員会会議規則第3条第3項に基づき、次第(1)の「協議」は公開、(2)の「採択」は非公開としてよいか。 【全委員承認】	
		教育長 事務局、傍聴する方がおりましたら、傍聴について説明し、案内をお願いします。	
		教育長 それでは、協議に移る。まず、第18採択地区教科用図書選定委員会規約第12条により、選定委員会会長に選定について報告を求める。なお、協議の運営上、1社ごとの報告、そして協議という流れでよいか。 【全委員承認】	
		教育長 まず、東京書籍について報告をお願いします。	
		選定委員会会長 東京書籍について、 例えば、4年生の「お母さんのせいきゅう書」を例に挙げると、資料の後に「考えるステップ」があり、「ひろしはお母さんにどんなことを言ったのでしょうか。」という発問が明記されている。「考え・議論する道徳」を進めていく上での工夫であると考えられる。 資料の後ろに、資料に基づいての発問が2つあり、資料の内容についての中心的発問と、自己の振り返りをする発問が載っている。若い先生にとっては、発問が載っていると授業が進めやすいのではないかと考える。一方で、発問を多く載せすぎてもよくないと感じるが、このように2つ程度であればちょうど良いと考える。 挿絵が親しみのあるものになっている。 左ページから始まる資料があり、見開きの右の内容に気が散ってしまうのではないか。	

<p style="text-align: center;">会 議 の 進 行 状 況</p>		<p>以上報告とする。</p> <p>教育長 協議に移る。意見はあるか。</p> <p>岸田委員 子供たちが「問題を見つけて考える」ための手がかりとして、「考えるステップ」に発問例が載っているということは工夫であると考え。 携帯電話やスマートフォンについても取り扱っている。 特別支援の校閲もきちんとしている。</p> <p>鹿山委員 「いじめ問題」を重点項目にして、それに関わる2つの教材を取り上げているのはよい。「いのちの大切さ」について振れているのがよい。</p> <p>増田委員 挿絵や写真が多く、子供たちが親しみやすい。</p> <p>大久保委員 携帯電話やスマートフォンについての資料があるのがよい。</p> <p>岸田委員 発達段階に沿ったつくりになっている。</p> <p>教育長 次に、学校図書について報告をお願いします。</p> <p>選定委員会会長 学校図書について、 読み物編と活動編が分冊に分かれているのは、読み物編に発問が載っていない分、子供がそれに引っ張られることなく読むことができる。 資料の始めに4つの内容項目が色別に示されていて分かりやすい。 読み物編の内容項目を活動編で探すときに、ページは記載されているが、子供にとっては、手間がかかる。</p>
--	--	--

<p style="text-align: center;">会 議 の 進 行 状 況</p>		<p>活動編の保管も含めて、低学年からこの2冊を学校に持って行く際になくしてしまうことが心配である。</p> <p>以上報告とする。</p> <p>教育長 協議に移る。意見はあるか。</p> <p>鹿山委員 資料の始めに4つの内容項目が色別に示されているのがよい。</p> <p>増田委員 教科書でめざすことを保護者向けにまとめたページがあり、家庭で話題にするときに役に立つ。</p> <p>岸田委員 教材の取り上げ方が発達段階に応じて適切である。ただ、文字が小さめであると感じる。</p> <p>大久保委員 挿絵に温かみを感じ、子供たちが親しみやすい。2冊の必要はないと考える。</p> <p>鹿山委員 4年生に日野原先生の資料があるのがよい。</p> <p>教育長 次に、教育出版について報告をお願いします。</p> <p>選定委員会会長 教育出版について、 資料の始めに、内容項目に関する投げかけがあり、問題意識をもたせるのにはよい工夫である。 「学びの手引き」が資料の後にあり、発問が多く載っているが、経験の浅い教員にはいいが、時間内でやりきれぬのかという意見も出た。 子供たちがこれから発問しようとするのを先に知っていて、資料を読ませるとするのは、これまでの道徳の授業にはな</p>
--	--	--

<p>会 議 の 進 行 状 況</p>	<p> かった新たなものである。 教科書として考えるとき、家の人に書いてもらう欄は必要か。 以上、報告とする。 教育長 協議に移る。意見はあるか。 岸田委員 「学びの手引き」があるのがよい。郷土に関する資料を多く 取り上げている。 増田委員 巻末に、公共の場での礼儀やマナーの資料がある。親子で話 し合うよい資料になる。 鹿山委員 生命尊重やいじめ、情報モラルについて重点を置いているよ うに感じる。 大久保委員 「気持ちのよいあいさつ」のページに空欄になっている部分 がある。子供たちに考えさせることができるよい資料である。 命を大切にしようと思う気持ちを育てることができる資料が ある。 教育長 次に、光村図書について報告をお願いする。 選定委員会会長 光村図書について、 「考えよう」がそれぞれの資料の後にあるが、発問の数とし ては3つが多く、適量である。 教科書のサイズが小さい分、字も小さい。1年生の字が詰ま って見える。 左ページから始まる資料があり、見開きの右の内容に気が散 ってしまうのではないか。 いろいろなタッチの挿絵があり、工夫されている。 以上、報告とする。 </p>
--	--

	<p>教育長 協議に移る。意見はあるか。</p> <p>岸田委員 いじめ問題に関する内容について、「ユニット形式」になっているのが特長である。「考えよう つなげよう」は、他教科とのつながりを重視している資料であると考え。</p> <p>増田委員 目次を見ると、内容項目ごとに、資料が計画的に配置されている。</p> <p>鹿山委員 中学年からは、スポーツ界で活躍する人物についての資料が載せられている。エルトゥール号についても取り扱っている。文字が細く、少し読みにくく感じる。</p> <p>大久保委員 低学年にしては、文字のポイントが小さい。</p> <p>教育長 次に、日本文教出版について報告をお願いします。</p> <p>選定委員会会長 日本文教出版について、 ノートがついており、読み物資料の順番とノートの順番が対応していて使いやすい。 発問は絞られている。 ノートに書く量が多く、書くだけで終わってしまうように感じる。 興味深い写真が多用されていて、見やすい。 ノートが挟まっていないことに気づかずに、忘れてしまう子供が出てくるかもしれない。 道徳ノートの振り返りの部分は、簡単に書けてよい。 以上、報告とする。</p> <p>教育長 協議に移る。意見はあるか。</p>
--	---

		<p>岸田委員 別冊のノートがあるが、きちんと挟むところがある。デジタル教材が用意されているのが特長である。</p> <p>大久保委員 ノートに書く量が多く、子供たちの話合いの時間がとれるのが心配である。</p> <p>増田委員 発問が記載されているので、若い先生には指導がしやすいのではないか。</p> <p>鹿山委員 いじめ問題を重要なテーマとして取り上げているのがよい。書くことが多く、書くだけで時間が終わってしまわないかと心配である。</p> <p>教育長 次に、光文書院について報告をお願いします。</p> <p>選定委員会会長 光文書院について、挿絵が明るく、温かなイメージがある。 資料の始めに、今日の学習につながる問いかけがあり、子供たちに問題意識をもたせてから読ませることができる。 脚注に発問があるのが気になる児童や、必要と感ぜない教師もいるはずである。 「学びのあしあと」の分量くらいがちょうどよい。 以上、報告とする。</p> <p>教育長 協議に移る。意見はあるか。</p> <p>増田委員 巻末の「学びのあしあと」は短時間で振り返られるものであると感ぜる。</p> <p>岸田委員 教科書自体が大きい割には文字が小さく感ぜる。脚注がある</p>
--	--	--

	<p>ことによって文字が小さくならざるを得なかったのではないか。しかし、話合いの場面や問題解決的な場面における学び方については、調和がとれている印象をもった。</p> <p>鹿山委員</p> <p>脚注に書かれていることに引っ張られてしまうと、子供たちの自由な発想が引き出せなくなると感じる。</p> <p>大久保委員</p> <p>写真が大きく、印象に残る。</p> <p>岸田委員</p> <p>編集委員に学校の先生が多い。現場の声を多く取り上げられているのではないか。1年生からスマートフォンについての内容が取り上げられていたのが印象的である。</p> <p>鹿山委員</p> <p>ドラえもんやちびまる子ちゃんのような人気のキャラクターが使われているのは、子供たちの興味をひくものである。</p> <p>教育長</p> <p>次に、学研みらいについて報告をお願いする。</p> <p>選定委員会会長</p> <p>学研みらいについて、 教科書が大きい分だけ、字も大きく、ゆとりをもって読める。 挿絵が大きく、また資料が右ページから始まっており、見開きの4ページにきちんとまとまっている。シンプルに整っている構成である。 大きい割にそんなに重くない。 発問も少なくシンプルだけど、教員によっては発問をいかようにも考えられる。 若手教職員には、発問や問いかけの掲載が少ない分、授業作りが大変になるが、経験を重ねていく上で、教科書に書かれている発問に縛られずに進められるという利点もある。 表紙が明るくてよい。 以上、報告とする。</p>
--	--

	<p>教育長 協議に移る。意見はあるか。</p> <p>岸田委員 「考えよう」のコーナーなど、子供たちに考えさせる工夫がある。様々なデータを適切に取り扱っている。マークが有効的である。本の裏側に著作者が記載されており、それだけページを大事にしていると感じる。低学年の子にはサイズが大きいのではないか。外国人の人名表記が見直されるようになってきたが、記載されている人名も新たなものになっている。</p> <p>大久保委員 身近なことを話題にしているので、話し合いにつなげやすい。</p> <p>鹿山委員 興味をひく題材が多い。</p> <p>増田委員 挿絵は文章を邪魔しないように配置されている。写真は大きく迫力がある。挿絵と写真がバランスよく配置されている。</p> <p>教育長 次に、廣濟堂あかつきについて報告をお願いします。</p> <p>選定委員会会長 廣濟堂あかつきについて、 ノートの分量が多い。書くことが授業の中心になってしまいがちではないか。 「心のしおり」は、ノートのしおりの役割として、担任が評価する際に開きやすい。 考え議論する道徳の推進のために、主題は明確の方が担任は進めやすい。 話し合いを中心に授業をすすめたい。 以上、報告とする。</p> <p>教育長 協議に移る。意見はあるか。</p>
--	---

	(2) 採択	<p>岸田委員 様々なジャンルで活躍する人を取り扱う教材を多く取り上げられている。文章量が多いように感じる。</p> <p>大久保委員 1年生の文章が多いように感じる。字も小さく感じる。</p> <p>鹿山委員 題名の前にある一言が、主題に対する動機づけとなっている。</p> <p>増田委員 文章が多く、タイトルの字が目立たないように感じる。メリハリのある色使いなどの工夫がほしい。</p> <p>岸田委員 6年生で著作権について取り扱っているのがよい。</p> <p>教育長 以上で、協議を終わりにする。続いて、採択に移る。ここから先については、非公開とする。傍聴者の退席をお願いします。</p> <p>教育長 皆様の御協力により、円滑に終了することができた。これで採択を終了する。</p>
その他特に重要と認める事項		

以上、顛末を記載して、その発言内容に相違がないことを証するため、ここに署名する。

教育長

委 員

委 員